

授業計画（シラバス）

氏名 根本 泰行

授業科目の名称	波動・エネルギー療法		
配当年次	1年次	配当学期	前期
年間開講数	1回	単位数	2単位
必修・選択の別	選択	授業の方法	講義

授業形態 : 講義

目標と授業内容 : 従来の医学においては、酵素や代謝産物、遺伝子やタンパク質、神経のネットワークや各種ホルモンによる作用など、主として目に見える「物質」を対象として、仕組みの解明や疾病の治療に取り組んできている。しかしながら、生命活動においては、目に見えない「波動」もしくは「エネルギー」と「情報」が、「物質」と同等以上に重要な役割を果たしていることが、明らかになってきている。

これからの医学においては、物質・エネルギー・情報の三位一体として、身体を捉えていくことが決定的に重要であり、「波動・エネルギー療法」を学ぶことこそが急務である。

当講義では「波動・エネルギー療法」について、基礎と応用の両面から、最先端の情報をお伝えする。

学習評価 : レポートによる。

- 第1回 波動医学とは？
- 第2回 波動医学と「新しい水の科学」
- 第3回 乱数発生器に対する意識の作用
- 第4回 ルパート・シェルドレイクの形態場の理論
- 第5回 リチャード・ガーバー著「バイブレーション・メディシン」の解説
- 第6回 ジェームズ・オシュマンの「生体マトリックス」という概念について
- 第7回 東洋におけるエネルギー医学としての「チベット医学」
- 第8回 量子生物学概論
- 第9回 ハンズオンヒーリング概論
- 第10回 波動デバイス概論
- 第11回 波動デバイスー理論と実践 (1)
- 第12回 波動デバイスー理論と実践 (2)
- 第13回 波動デバイスー理論と実践 (3)
- 第14回 波動デバイスー理論と実践 (4)
- 第15回 総括と質疑応答

参考図書

リチャード・ガーバー 著, 上野圭一&真鍋太史郎 訳、『バイブレーション・メディシン』、日本教文社
 ジェラルド・ポラック 著, 根本泰行 監修、『第4の水の相』、ナチュラルスピリット社